TAMURA CORPORATION REPORT 2014

CORPORATE PROFILE / CSR REPORT DIGEST

Biltrite 90
Tamura Corporation since 1924

TAMURA

TOP MESSAGE

新3ヵ年中期経営計画 “Biltrite Tamura”始動の年、利益重視の意識改革・構造改革の推進で業績を回復。～90年の思いを受け継ぎ、100年企業へ～

株式会社タムラ製作所
代表取締役社長
田村 直樹

Network Japan WE SUPPORT

国連グローバル・コンパクト支持表明メッセージ
タムラグループは、国連グローバル・コンパクトの人権、労働、環境および腐敗防止の4分野に関する10原則を引き続き支持し、推進してまいりますことを、ステークホルダー（利害関係者）の皆様方に宣言いたします。

新3ヵ年中期経営計画の初年度、利益重視の構造改革で業績を回復

2013年度は、新3ヵ年中期経営計画“Biltrite Tamura”始動の年。計画では「健全な経営体質」「最適なグローバル体制」、そして「立派な製品」の3つを作り上げていくことを目標に掲げました。特に、「健全な経営体質」を作り上げるために売上重視から利益重視への意識改革を図り、適正な「つなぎ利益（製品別の積上げ原価に基づく利益）」を確保していくことで、営業利益率の改善を図りました。この利益重視を徹底した意識改革・構造改革の推進が大きな要因となり、業績を急回復させることができました。

事業別に見ると、海外生産を進めている電子部品関連事業では、円安が採算面でのマイナス要因となりましたが、グローバル生産体制の最適化による固定費低減とグループ全体にシステム導入したリアルタイムでの個別原価モニタリングが高い効果を発揮し、その影響を最小限に抑えることができました。また、ここ数年取り組んできた「民生用から産業用へ」の転換が実を結び、新エネルギーや鉄道、送配電といった分野の大型部品において実績を上げました。

電子化学実装関連事業は、車載市場やスマートフォン・タブレットPC市場の好況を受け、電子化学材料の販売を伸ばし、利益を拡大。積極的に開発・投入した高付加価値製品の多くが国内生産のため、円安効果も表れています。実装装置販売は、設備投資の回復の遅れから低水準で推移しましたが、引合い件数の増加傾向から底は脱したと見ています。

情報機器関連事業も、当期前半までは苦戦が続きましたが、性能・機能を高めた新製品が好評を得ており、後半は受注が回復に向かいました。

予算配分の適正化と人材育成で、強固なグローバルサプライチェーンを構築

「最適なグローバル体制」の構築についても、日系企業への依存度が高かった営業体制から転換し、海外企業へのアプローチを強化。ナショナルスタッフの積極登用による現地完結型への移行。また、中国・韓国へのR&D拠点設置による「開発の現地化」や、電子部品・LEDの生産拠点を中国からバングラデシュに移す「生産地シフト」など、海外拠点間の最適化を推進し、グローバルな予算配分の適正化を図り、地域別売上構成に占める海外（アジア・ヨーロッパ・南北アメリカ）の割合が50％を超えました。

このようにタムラグループにとって、海外を含めたサプライチェーンマネジメントの重要性が一層増しております。13年度はグローバル人材育成の一環として、若手従業員向け海外研修（於中国）やグローバルマインドセット研修を実施。さらに、グループ共通階層別研修のグローバル展開の一環として、海外現地採用従業員全員を対象とした経営理念教育、並びに管理監督者を対象としたマネジメント研修を中国にて実施するなど、人材面からも強固なグローバルサプライチェーンの構築を進めております。

今後の成長が期待できる、先駆的な開発テーマへの挑戦

以前の中期経営計画から推進してきた「ナンバーワン戦略」「オンリーワン戦略」を引き継いだ「立派な製品」作りの取り組みについても、今後の成長が期待できる開発案件の成果が現れてきています。

電子部品では、酸化ガリウム基板を使用した先駆的な開発を進めており、高輝度LED製品の実用化を目指しています。また、太陽光関連や鉄道、ハイブリッドカーなど、大電流・大出力を必要とする分野でのニーズが見込まれる次世代パワーデバイスであるMOSトランジスタの開発に世界に先駆けて成功しています。内部に絶縁性ウレタンを充填した「高効率電源モジュール」は、欧米で導入予定の待機電力関連規制を背景に売上を伸ばしていくと思われます。電子化学材料では、スマートフォン関連部品等の薄型化・高密度化に対応した開発を推進。13年度は、従来に比べ低温で電子部品を接着させる接合材料や、基板同士を低温・低圧で接着し、コネクター接続代替となる接合材料などを新たに開発、発売しました。また、チップ部品の超小型化に対応すべく、従来のはんだペーストについても、さらなる微細化技術を開発しています。

100年企業として、社会から信頼される企業グループを目指します

タムラ製作所は2014年5月11日、おかげさまで90周年を迎えることができましたが、今も、その創業の精神である「お客様に世界の一流品を提供する」を経営の根幹に受け継ぎつつ、事業を推進しております。タムラグループは、これからも変わらずにこの創業の精神を実践していくことで、100年企業として、社会から信頼される企業グループを目指してまいります。

2014年7月

MISSION STATEMENT

MISSION

**私たちは タムラグループの成長を支える
全ての人々の幸せを育むため、
世界のエレクトロニクス市場に高く評価される
独自の製品・サービスをスピーディに提供していきます。**

VISION

1. タムラグループは、世界的視野にたち、エレクトロニクス産業が求める事業を経営基盤とします。
2. タムラグループは、市場本位をつらぬき、世界のお客様が求める技術を事業基盤とします。
3. タムラグループは、公正な視点で社員を評価し、努力によって成果をもたらす人を最も賞賛します。
4. タムラグループは、国際社会の一員として行動し、各国の法規制を順守し文化・慣習を尊重します。
5. タムラグループは、地球環境の保全に努め、資源の有効化と再資源化を推進します。

GUIDELINE

1. 私たちは、パートナーシップを大切にする。
2. 私たちは、革新する勇気を大切にする。
3. 私たちは、多彩な個性を大切にする。
4. 私たちは、社会的な責任を大切にする。

TAMURA CORPORATION REPORT 2014

CORPORATE PROFILE / CSR REPORT DIGEST

CONTENTS

トップメッセージ 01
MISSION STATEMENT 02
目次/編集方針 02
[CORPORATE PROFILE] 03
タムラグループビジョン 03
事業の系譜とコア技術 05
製品一覧 07
暮らしと環境を支える 09
社会と産業を支える 11
グループネットワーク 13
[CSR REPORT DIGEST] 14
CSR活動実績
2013年度の主な取り組み結果と2014年度の計画 15
社会性報告
2013年度CSR活動トピックス 17
環境報告
2013年度環境活動トピックス 19
CORPORATE DATA 21

編集方針 本冊子は、グループ概要や事業を紹介した[CORPORATE PROFILE]と、CSR活動をダイジェストで紹介した[CSR REPORT DIGEST]を1冊にまとめて、タムラグループをご紹介する『TAMURA CORPORATION REPORT 2014』として発行するものです。

尚、CSR活動の詳細な報告は、タムラ製作所ホームページ「CSR活動」のページに掲載しております。「CSR活動」の編集にあたっては、GRI『サステナビリティ・レポーティング・ガイドライン3.1』、環境省『環境報告ガイドライン（2012年版）』、ISOガイダンス規格『ISO26000』を参照しました。

報告対象期間 2013年4月1日～2014年3月31日
（一部、2014年4月以降の活動も含みます）
発行 2014年7月
（前回：2013年7月 次回：2015年7月）
お問い合わせ先 CSR推進本部
TEL：03-3978-5293 FAX：03-3978-2760
E-mail：csr@tamura-ss.co.jp
ホームページ http://www.tamura-ss.co.jp/

TAMURA GROUP VISION

タムラグループビジョン

Biltrite 90

Tamura Corporation since 1924

2014年 5月11日
株式会社タムラ製作所は、前身である「田村ラヂオ商会」
創業の日から、90年目の節目を迎えました。

Biltriteとは、“Build up”と“right”をあわせた造語で
当社創業期の製品につけられた由緒ある商標です。

「正しく」　「つくる」

Biltriteの商標に込めたものは、
優秀な製品を通して社会へ貢献する強い意志。

90年の思いを受け継ぎ、100年企業へ。

私たちは、創業の原点に立ち返り、2015年度を最終年度とする
第10次中期経営計画“Biltrite Tamura”を推進中です。

立派な製品を作る
- □ ナンバーワン商品・オンリーワン商品の強化
- □ 新規・戦略事業の投資回収

健全な経営体質を作る
- □ 売上重視から利益重視への意識改革
- □ 適正な「つなぎ利益」の確保

最適なグローバル体制を作る
- □ グローバル労務費・経費の最適配分
- □ ナショナルスタッフの活躍推進

GENEALOGY OF PRODUCT DEVELOPMENT

事業の系譜とコア技術 ～歴史で培われた技術力が今も光る～

HISTORY

1924～
ラジオ、蓄音機の
製作・販売

1930～
トランスの自作化
ビルトライト

各種
トランス

1956～
カットコア/磁性材料

1970～
チョークコイル

1956～
電源機器

1994～
圧電トランス

1973～
温度ヒューズ

1987～
自動販売機用連動ボタン

2008～
LED

1956～
ソルダーライトフラックス

1957～
ソルダーペースト

1961～
レジストインク

1968～
自動はんだ付装置

1961～
放送用音声調整卓

1962～
ワイヤレスマイク

1976～
伝送監視装置

日本でラジオ放送が始まる1年前の1924(大正13)年、当社の前身となる「田村ラヂオ商会」が創業しました。ラジオ修理からオリジナルのラジオ作りを行う中で、「良い音」への追求から、その鍵となるトランスの製作を手掛けるようになり、「トランスのタムラ」としての礎を築きました。

その後、トランスを軸とした各種電子部品、良いトランスを作る良い接合材料への追求からフラックスやはんだ材料、はんだを接合するためのはんだ付装置、さらには放送用・通信用トランスの実績から放送用音声機器・通信機器にとその業容を広げてまいりました。

現在では、電子部品、電子化学実装、情報機器の3つの事業分野で、環境やエネルギーなど新たな市場のニーズに応える製品の開発、供給に努めています。

PRODUCTS

電子部品

- 各種トランス・インダクタ・リアクタ
  チョークコイル
  電流センサ
- ACアダプタ・バッテリーチャージャ
  電源モジュール
  産業機器用電源装置
- 圧電セラミックス製品
- 温度ヒューズ、抵抗器
- LED関連製品、自動販売機関連製品

電子化学実装

- ソルダーペースト・ポストフラックス
  導電性接合材
- ソルダーレジスト
  (リジット基板用・フレキシブル基板用)
  OSP(プリフラックス)
  白色反射材、黒色吸収材、透明絶縁材
- リフローはんだ付装置
  ウェーブはんだ付装置
  スプレーフラクサ他周辺機器

情報機器

- 放送用音声調整卓
  放送用音声編集機器他
- ワイヤレスインターカム
  ワイヤレスマイクロホン
- 通信ネットワーク機器
  セキュリティ関連機器
  各種OEM製品

CORE TECHNOLOGY

パワーソリューション

- ダストコア素材開発と量産化技術
- 温度保護素子開発と量産化技術
- 電磁界、熱、構造解析(シミュレーション)技術
- 高効率低ノイズ電源技術
- 大型巻線生産技術
- コイル加工絶縁封止の生産技術
- 環境対応技術
- 高信頼規格(JAXA・MIL規格等)適応技術

圧電セラミックス

- 材料開発・プロセス技術
- 素子設計技術・解析技術
- 圧電素子の制御技術

LED・半導体デバイス

- LEDパッケージング技術
- 防水技術
- 熱設計・解析技術
- 光学設計・解析技術
- 高効率反射処理技術
- 単結晶基板育成技術
- 高品質エピ成膜技術
- 高効率・高出力LED製造
- 照明設計技術

電子実装プロセス/プリント配線板材料/半導体実装材料

- 材料と設備一体の製品開発とコラボレーション
- 樹脂設計・合成技術(感光性樹脂・熱硬化性樹脂・熱可塑性樹脂)
- 金属粉末作製技術
- はんだ接合技術
- 光硬化技術
- 熱硬化技術
- 環境対応技術(鉛フリー化対応、ハロゲンフリー化対応)
- リフロー加熱技術
- ソルダリング技術
- ウェーブはんだ付技術
- 熱制御技術
- (窒素)雰囲気制御技術

情報機器

- 音声処理技術
- デジタル信号処理技術
- 光変復調技術
- 音響技術
- 高周波技術
- 無線技術
- 高密度実装技術
- サラウンド音響技術

PRODUCT REVIEW

製品一覧 ～素材からシステムまでエレクトロニクス産業を支える～

電子部品

トランス・LED・圧電セラミックス・充電器など素材・部品・完成製品の開発・生産・販売を行い、一般家電から産業機器・医療機器、さらには宇宙機器まで幅広い市場に製品を供給しています。

各種トランス

オーディオトランス

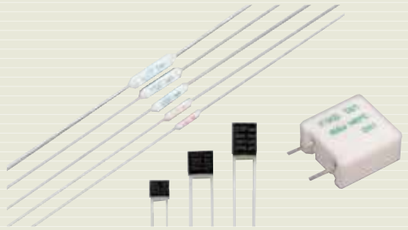
圧電トランス

電流センサ

ACアダプタ

リアクタ

チョークコイル


温度ヒューズ/温度ヒューズ付き抵抗器

自動販売機関連製品

LEDデバイス

7セグ表示器

ボードライト910
「グッドデザイン賞」受賞

LED照明

電子化学実装

プリント配線板の形成材料や部品のはんだ付材料、プリント配線板のはんだ付を行う装置の開発・生産・販売を行い、さまざまなエレクトロニクス産業の成長に貢献しています。

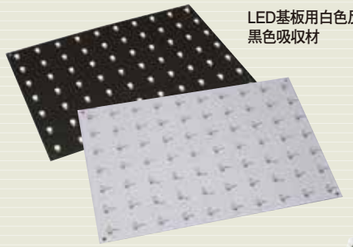
ソルダーペースト
（一般用・車載用・半導体用）

導電性接合材

フラックス

ソルダーレジスト
（一般用・車載用）

フレキシブル基板用ソルダーレジスト


LED基板用白色反射材/
黒色吸収材

透明絶縁材

リフローはんだ付装置

ポイントディップはんだ付装置

情報機器

放送用音声機器・無線連絡装置は、デジタル放送化に貢献しています。また、通信設備システムがユビキタス社会を支える一方で、鉄道向け駅用無線連絡装置・セキュリティ機器が安心・安全・快適な暮らしに貢献しています。

デジタルオーディオ
ミキシングコンソール
「NT880」

デジタルオーディオ
ミキシングコンソール
「NT660」

デジタルワイヤレスマイク

鉄道用ワイヤレスマイクロホンシステム

デジタルワイヤレスインターカムシステム

ネットワーク監視制御装置

暮らしと環境を支える

省エネ・創エネに貢献
未来を創るさまざまなフィールドでタムラのテクノロジーは活躍しています

■ 電子部品 ■ 電子化学実装 ■ 情報機器

温度ヒューズ付き抵抗器/メタルクラッド抵抗器

電気自動車を始めとするさまざまな環境貢献製品に採用。機器への突入電流等を防止してトラブルから製品を守っています。

車載用リアクタ

ハイブリッド車・電気自動車などの電圧を最適に制御するための基幹部品。高信頼性・安全性でエコドライブを支えます。

コイル

自動車電装品のノイズ低減やエネルギー効率改善のための部品。自動車のエコ・安全・安心を支えています。

ソルダーレジスト

プリント基板を酸化から守り、絶縁性を保つ大切な役割を果たしています。プリント基板の顔であることから、外観・中身(信頼性)ともこだわります。

ソルダーペースト

はんだ合金を粉末化し、フラックスを混ぜる事でクリーム状にしたはんだ。いち早く鉛フリー化に取組み、お客様のニーズに応えます。

大型トランス・リアクタ

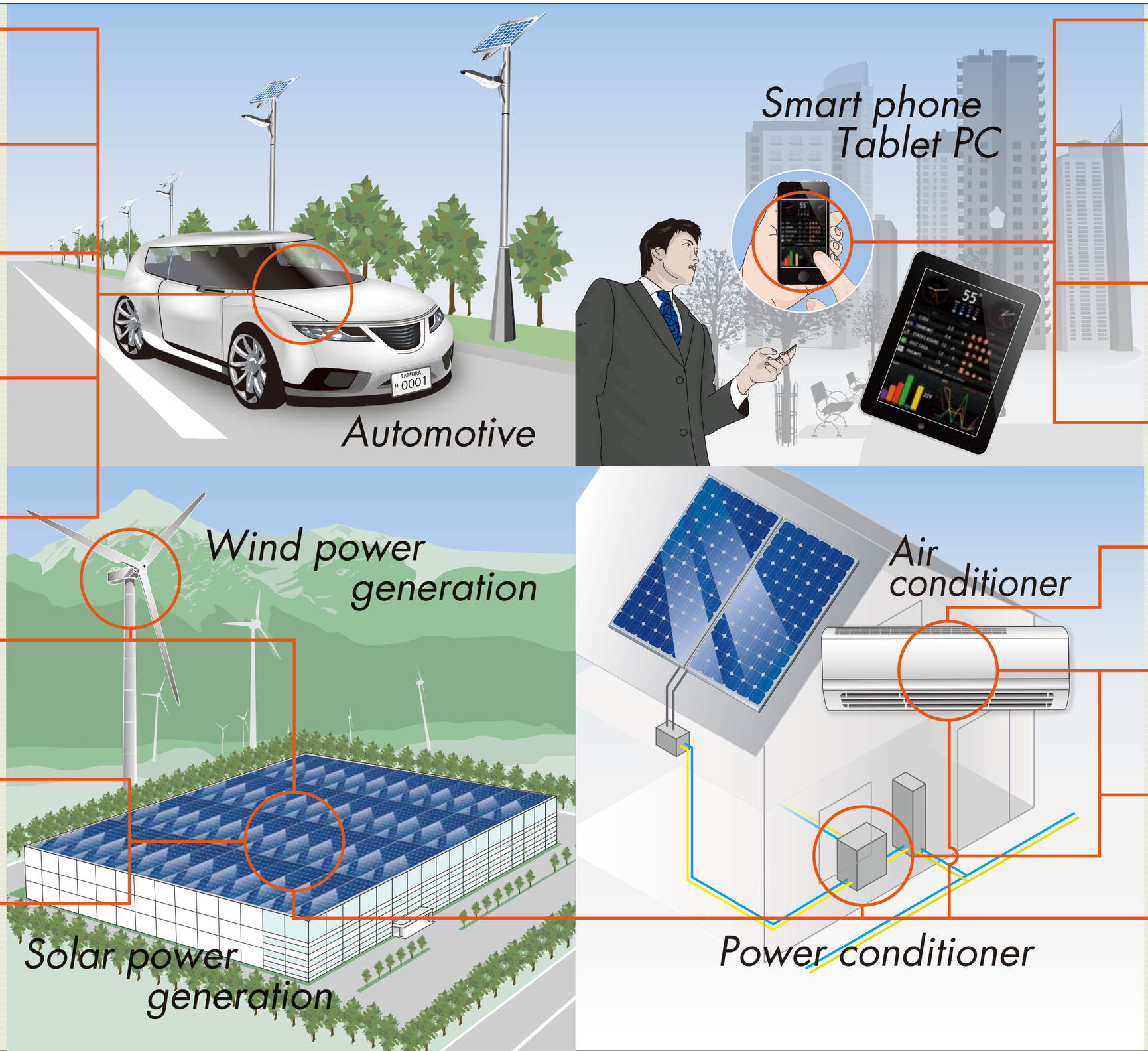
大規模な風力発電、太陽光発電設備等において、大型トランスは電圧変換、リアクタは電圧制御やノイズ除去のための基幹部品。省エネルギー、クリーンエネルギーに貢献します。

白色反射材

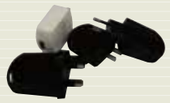
太陽光発電パネルの背面に塗布し、太陽光の反射率を高め、発電効率向上を助けます。反射シートの代替として活用でき、歩留まりの向上に寄与します。

導電性接合材

金属的接合と樹脂の硬化による接着を同時に行う、新しい接合材料です。鉛フリー・VOCフリーで環境に配慮しています。また、低温接合によるCO_2削減が期待できます。

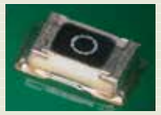


ACアダプタ



鏡面仕上げのスタイリッシュなUSB型ACアダプタです。10Wタイプですので急速充電に対応し、またタブレットPCにもご利用いただけます。

導電性接合材



金属的接合と樹脂の硬化による接着を同時に行う、新しい接合材料です。鉛フリー・VOCフリーで環境に配慮しています。また、低温接合によるCO_2削減が期待できます。

透明絶縁材

スマートフォンやタブレットPCなどに使われているタッチパネルの液晶画面向け透明絶縁材です。有機物にも無機物にも対応でき、印刷タイプやインクジェットタイプで、工程・コスト削減も期待できます。

黒色吸収材

プリント基板やフィルムの表面に塗布して、LEDの発光を際立たせます。配線を覆い隠すなど、デザイン性の要求にも応えます。

電源モジュール

高効率DCコンバータの機能をパッケージ化しました。お客様の製品にぴったりの高性能電源(高効率・低待機・静音・小型)を、簡単に設計できます。

リアクタ

パワーコンディショナーやエアコンディショナー等における電圧制御やノイズ除去のための基幹部品。省エネルギー、クリーンエネルギーに貢献します。

電流センサ

自然エネルギーの有効利用には、機器の電流を高精度に監視する必要があります。充実したラインナップ(電流レンジ、精度レンジ)で、省エネ・創エネ・蓄エネに貢献します。

温度ヒューズ

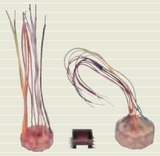
さまざまな電化製品に組み込まれ、温度が所定以上になったときに切れ、回路を完全に遮断し、機器の異常を防ぎます。

社会と産業を支える

高信頼、高機能、高効率に貢献
見えないところでもしっかりとタムラのテクノロジーは私たちの暮らしを支えています

■電子部品 ■電子化学実装 ■情報機器

宇宙トランス・リアクタ



電力系トランス・リアクタでは国内唯一のJAXA(宇宙航空研究開発機構)規格認定を取得。人工衛星や打ち上げ用ロケットで活躍しています。

ACアダプタ

光回線終端装置(ONU)に安定した電源を供給します。雷などの外来ノイズにも強く、インターネットや電話などの通信ライフラインを支えます。

圧電トランス

圧電セラミックスの共振現象を利用し、高電圧を効率よく作り出します。レーザープリンタの印刷用電圧に使われ、省エネルギーに貢献します。

ソルダーレジスト

プリント基板を酸化から守り、絶縁性を保つ大切な役割を果たしています。プリント基板の顔であることから、外観・中身(信頼性)ともこだわります。

ソルダーペースト

はんだ合金を粉末化し、フラックスを混ぜる事でクリーム状にしたはんだ。いち早く鉛フリー化に取組み、お客様のニーズに応えます。

フラックス

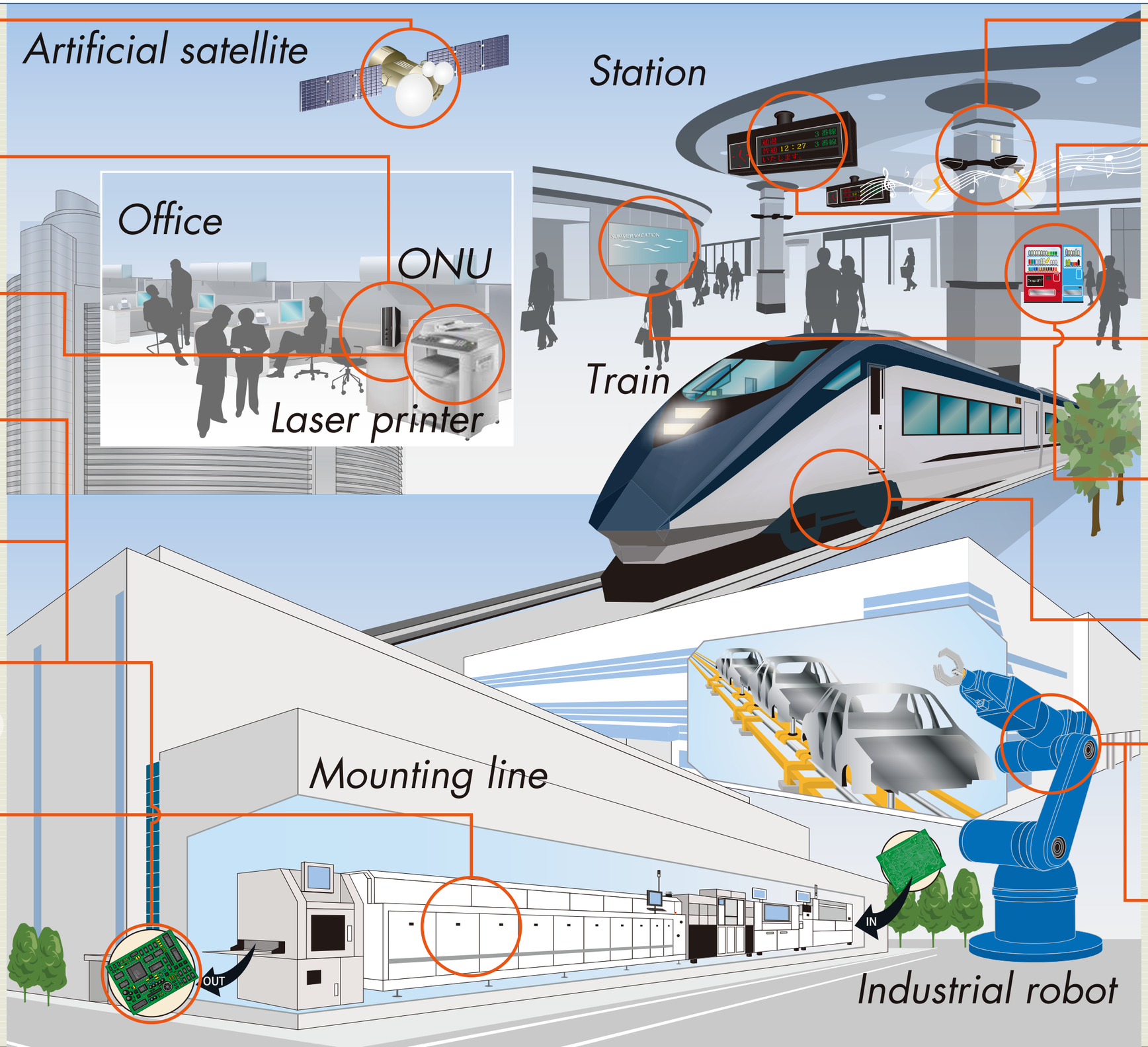
タムラの材料開発の礎となったフラックス。はんだ付される金属面の酸化膜を化学的に除去し、はんだのぬれ性・広がり性を確保する材料です。

はんだ付装置

プリント配線板の実装に欠かせないはんだ付装置。鉛フリーはんだ付装置のパイオニアとして、省エネ・環境配慮に寄与しています。

リフロー
はんだ付装置

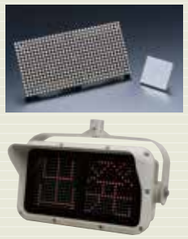
ウェーブはんだ付装置



ワイヤレスマイクロホンシステム

JR・私鉄・地下鉄の駅構内における発着案内、緊急連絡、発車ベル等の遠隔制御で列車運行の安全・安心および定時運行を支えています。

サインボード



LEDを使ったドットマトリクスで文字を表示します。駅やバスで行き先を表示したり、さまざまな情報を伝えるツールとして活躍しています。

看板用LED照明

独自の光学設計によるレンズ効果で、より薄く、ムラのない発光面を実現。省スペース、省エネ、長寿命で美しい看板を作り、高いシェアを頂いています。

自動販売機用LED製品

シェア70%を誇る商品選択ボタンをはじめ、価格表示ユニット、金額表示器は、自動販売機の重要部品。LED照明は、蛍光灯の約1/8の消費電力で省エネに貢献しています。

鉄道用トランス

鉄道車両に搭載され電圧を変換する部品。厳しい環境下においても鉄道の高信頼性・安全性を支えます。

トランス・リアクタ

ロボットや工作機械等における、トランスは電圧変換、リアクタは電圧制御やノイズ除去のための基幹部品。機器の高性能化・高信頼性化に貢献します。

電流センサ

電気製品を動かす源は、電流と電圧です。特に電流の動きは、製品の安定動作に重要です。ロボットなどの産業機器に使われ、正確で安定した動作を支えます。

GROUP NETWORK

事業所および国内・海外関係会社 2014年7月1日現在

01 本社

電子部品関連事業セグメント

■事業所
- 02 坂戸事業所
- 06 大阪営業所
- 07 名古屋営業所

■国内関係会社
- 01 株式会社光波
- 04 株式会社タムラサーマルデバイス
- 09 株式会社会津タムラ製作所
- 10 株式会社若柳タムラ製作所
- 11 株式会社光波 浜松工場

■海外関係会社
- 01 株式会社韓国タムラ
- 02 田村(中国)企業管理有限公司
- 02 田村精工電子(常熟)有限公司
- 04 合肥博微田村電気有限公司
- 05 田村電子(深圳)有限公司
- 05 田村電子(恵州)有限公司
- 05 安全電具(恵州)有限公司
- 06 田村香港有限公司
- 07 田村科技股份有限公司
- 08 タムラタイランド株式会社
- 09 タムラ電子(マレーシア)株式会社
- 10 タムラシンガポール株式会社
- 11 OP-SEED CO.,(BD)LTD.
- 12 タムラ エルコンポニクス テクノロジーズ
- 13 タムラ ヨーロッパ リミテッド
- 14 タムラ ヨーロッパ リミテッド チェコ支店
- 15 タムラ コーポレーション オブ アメリカ
- 16 タムラ電子(メキシコ)株式会社
- 17 テレパート・タムラ
- 17 インドサル エスシー
- 17 インドサル エムジー

電子化学実装関連事業セグメント

〈電子化学〉

■事業所
- 03 入間事業所
- 05 児玉工場
- 06 大阪営業所
- 07 名古屋営業所

■海外関係会社
- 01 タムラ化学韓国株式会社
- 02 上海祥楽田村電化工業有限公司
- 03 田村電子材料(天津)有限公司
- 05 田村化研(東莞)有限公司
- 06 田村香港有限公司
- 07 田村化研科技股份有限公司
- 08 タムラタイランド株式会社
- 09 タムラ化研(マレーシア)株式会社
- 10 タムラシンガポール株式会社
- 13 タムラ化研(英国)株式会社
- 15 タムラ化研(アメリカ)株式会社

〈FAシステム〉

■事業所
- 04 狭山事業所
- 06 大阪営業所
- 07 名古屋営業所
- 08 福岡出張所

■海外関係会社
- 01 株式会社韓国タムラ
- 02 田村自動化系統(蘇州)有限公司
- 08 タムラタイランド株式会社
- 10 タムラシンガポール株式会社
- 14 タムラ ヨーロッパ リミテッド チェコ支店
- 18 タムラコーポレーションベトナム

情報機器関連事業セグメント

■事業所
- 01 東京事業所
- 06 西日本営業所

■国内関係会社
- 09 株式会社会津タムラ製作所

■海外関係会社
- 01 株式会社韓国タムラ

CSR REPORT DIGEST

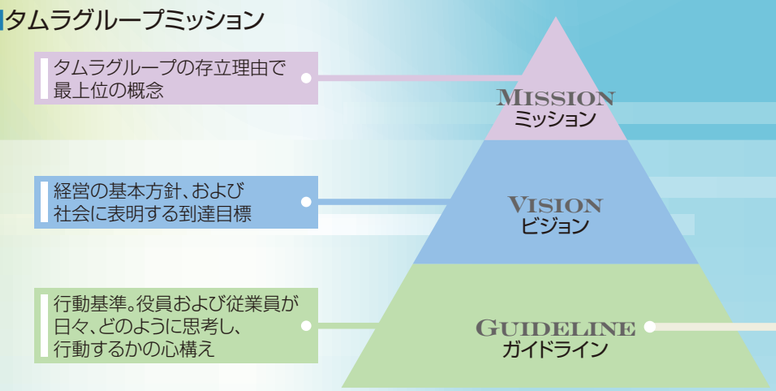
私たちは、タムラグループの企業理念であるミッションステートメント(p.2)を事業活動の中で実現することが、タムラグループのCSR(企業の社会的責任)だと考えます。そのためには、私たち一人ひとりがCSRを理解し行動していくことが大切と考え、推進活動を積極的に行っております。

■コーポレートスローガン

"YOUR ONE AND ONLY COMPANY"

オンリーワン・カンパニーの実現を目指します

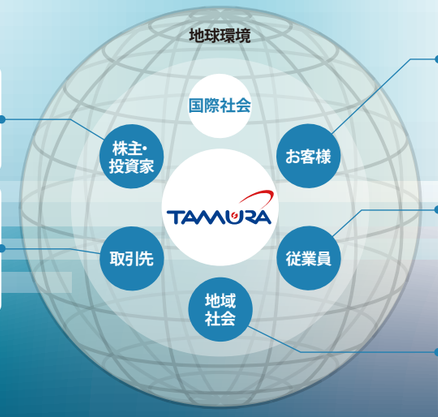
■タムラグループミッション



タムラグループ行動規範【17項目】
1. お客様の信頼と満足の獲得
2. 株主等経営を支援していただく皆様からの信頼の獲得
3. 基本的人権の尊重
4. 安全で健康的な職場環境
5. 自由な競争及び公正な取引
6. インサイダー取引の禁止
7. 不適切な接待及び贈答の禁止
8. 公的機関との不適切な取引及び不適切な政治献金の禁止
9. 安全保障輸出入管理関連法令の遵守
10. 知的財産権及びノウハウの創出、保護と活用
11. 反社会的行為への関与の禁止
12. 競業及び利益相反行為の禁止
13. 適切でタイムリーな情報開示
14. 情報(企業情報・個人情報等)の適切な保護及び管理
15. 会社資産の保護
16. 地球環境の尊重
17. 国際社会との協調及び地域との共生

創業の精神である「お客様に世界の一流品を提供する」意志・姿勢を「オンリーワン」と表現し、グループのスローガンとして掲げています。また2007年1月、ミッションステートメントのガイドラインを具体的な行動に落とし込んだ17項目の「タムラグループ行動規範」を制定しております。

■タムラグループの主要なステークホルダー



株主・投資家の皆様の利益・期待に応えられる事業経営に努めるとともに、タムラグループの企業活動を正しくご理解いただけるよう適時適切な情報開示に努めます。

事業活動がもたらす社会・環境影響を考えるとき、取引先の皆様との協力体制は、必要不可欠です。公正・公平な取引を行うとともに、CSR調達やグリーン調達を推進し、サプライチェーンマネジメントによる社会・環境影響への配慮に努めます。

お客様の要望を積極的に把握し、品質・安全性などにおいて、常にお客様の信頼、満足が得られる製品・サービスの提供に努めます。また福祉や環境保全など、社会に高く評価される製品・サービスを提供し、お客様の発展とともに、持続可能な社会の構築に貢献します。

従業員一人ひとりの成長がタムラグループの成長を支えています。従業員が、「パートナーシップ」「人間的な成長」「革新する勇気」「多彩な個性」を大切にし、能力を最大限に発揮でき、自己実現を図れるような職場環境の整備に努めます。

地域の皆様から親しまれ、信頼されるよう、各国・各地域の歴史、文化や慣習を尊重した行動を取るとともに、地域社会に密着した社会貢献活動に努めます。また、コミュニケーションを大切にし、地域の発展に貢献します。

CSR活動実績

2013年度の主な取り組み結果と2014年度　の計画

タムラグループでは、以下のようなCSR活動を推進しています。

自己評価の判断基準　達成率100%以上　達成率80%以上100%未満　達成率80%未満

取り組み分野	取り組み目標	2013年度の主な取り組み計画	2013年度の主な取り組み結果		自己評価	報告ページ	関連するステークホルダー	2014年度の主な取り組み計画
（全般）	●CSRリスクの排除 ●CSR教育の充実	●CSRセルフチェックの準備 ●「CSR情報サイト」を活用した教育	●「CSR情報サイト」を活用した教育	●「CSR情報サイト-実践編」作成 （CSRセルフチェックからの計画変更）		WEBサイト	従業員	●「CSR情報サイト-実践編」の作成完了
コンプライアンス・企業倫理	●経営理念・「タムラグループ行動規範」の浸透 ●法令、ルールの遵守の推進 ●コンプライアンス教育の充実	●経営理念・「タムラグループ行動規範」の浸透教育推進 ●コンプライアンス教育の推進	●「タムラグループ行動規範」の改定 ・ISO26000を準拠 ・CSR調達・グリーン調達推進、紛争鉱物（コンフリクトミネラルズ）不使用 ●経営層人材短期養成講座におけるCSR（コンプライアンス含む）教育	●コンプライアンス映像教材による教育 ●中国現地法人での経営理念教育実施 ●コンプライアンス意識調査の実施		WEBサイト 冊子：p.17	従業員	●経営理念・「タムラグループ行動規範」の浸透教育推進 ●コンプライアンス教育の推進
危機管理	●危機管理の強化	●BCP（事業継続計画）文書の定期・臨時の見直し ●各事業所備蓄品の計画的な整備 ●防災訓練の実施	●事業セグメントごとにグローバルでBCPを展開 ●電子化学事業セグメントにおける国内・海外全体でのBCP策定	●国内各事業所における備蓄品整備 （発電機、救助用具、簡易トイレ、毛布等）		WEBサイト	従業員	●BCP文書の定期・臨時の見直し ●各事業所備蓄品の計画的な整備 ●防災訓練の実施
情報管理	●情報保護の体制の強化 ●適時適切な企業情報開示の推進	●情報保護体制の強化 ●ホームページによる適時適切な企業情報開示	●ホームページによる適時適切な企業情報開示			WEBサイト	株主・投資家様 従業員	●情報保護体制の強化 ●ホームページによる適時適切な企業情報開示
人権・労働	●従業員向け社内研修の充実 ●公正・公平な評価制度の確立 ●社内コミュニケーションの活性化	●海外研修の継続実施 ●ヘルスケアの充実 ●安全衛生社内巡視 ●紛争鉱物（コンフリクトミネラルズ）対応	●中国現地法人での管理監督者研修 ●若手・中堅従業員の海外研修 ●労務管理に関する管理者研修 ●ストレスカウンセリングの定期的実施	●社用車へのドライブレコーダー設置 ●安全衛生社内巡視の実施 （タムラ製作所各事業所他） ●紛争鉱物（コンフリクトミネラルズ）使用状況のお取引先様への調査実施		WEBサイト 冊子：p.17	従業員 国際社会	●海外研修の継続実施 ●ヘルスケアの充実 ●安全衛生社内巡視 ●紛争鉱物（コンフリクトミネラルズ）対応
環境・品質	【品質】 ●顧客満足のさらなる向上 ●グリーン調達の推進	●トップマネジメントによる品質巡視 ●品質月間における品質向上啓蒙活動 ●タムラグループ品質推進大会の開催 ●グリーン調達基準の更新 ●製品含有化学物質管理の強化	●品質月間初日に品質担当執行役員からメッセージ伝達 ●第7回タムラグループ品質推進大会の開催	●「グリーン調達基準」の改定 （各種環境法規制の改定に対応） ●製品含有化学物質法規制の制定、改廃情報の共有化推進		WEBサイト	お客様 取引先様 従業員	●品質月間における品質向上啓蒙活動 ●タムラグループ品質推進大会の開催 ●グリーン調達基準の更新 ●製品含有化学物質管理の強化
	【環境】 ●ISO14001統合認証取得の推進 ●省エネルギー、省資源の推進 ●環境負荷物質の抑制、削減 ●環境貢献製品の提供	●環境貢献製品の売上比率の拡大 プレミア環境貢献製品：15%（一般環境貢献製品：49%） ●環境負荷物質削減：2005年度比原単位60%削減 ●電気使用量の削減：2005年度比3%削減 ●環境法規制順守	●環境貢献製品の売上比率 プレミア環境貢献製品：15%【計画達成】 （一般環境貢献製品：58%【計画達成】）	●環境負荷物質削減：64%削減【計画達成】 ●電気使用量の削減：4%削減【計画達成】 ●環境法規制違反なし		WEBサイト 冊子：p.19-20	お客様 地域社会 国際社会 従業員	●環境貢献製品の売上比率 プレミア環境貢献製品：17% ●環境負荷物質削減：2005年度比原単位64%削減 ●電気使用量の削減：2005年度比5%削減 ●環境法規制順守
社会貢献	●継続性のある社会貢献活動の実施 ●地域共生、ボランティア活動の実施 ●文化、芸術、スポーツ振興の実施	●各種寄附活動 ●ものづくり教室開催 ●スポーツ振興 ●インターンシップ・職場体験学習受入 ●地域共生、ボランティア活動の実施 ●エコキャップ活動の推進 ●使用済み切手収集活動の推進	●各種寄附活動 ●フィリピン台風被災者への有志による義援金 ●ものづくり教室開催 （会津タムラ製作所でも初回実施） ●女子サッカーチーム（ASエルフェン埼玉）への協賛	●インターンシップ・職場体験学習受入 ●各事業所近隣・周辺の環境美化活動の推進 ●エコキャップ活動の推進 ●使用済み切手収集活動の推進 ●ユニセフ外国コイン募金の推進		WEBサイト 冊子：p.17-18 （左記結果の一部）	地域社会 従業員	●各種寄附活動 ●ものづくり教室開催 ●スポーツ振興 ●インターンシップ・職場体験学習受入 ●地域共生、ボランティア活動の実施 ●エコキャップ活動の推進 ●使用済み切手収集活動の推進 ●ユニセフ外国コイン募金の推進
上記以外	●国連グローバル・コンパクトの浸透	●「CSR情報サイト」を活用した浸透	●「CSR情報サイト」を活用した教育			WEBサイト	従業員 国際社会	●「CSR情報サイト」を活用した浸透
	●ISO26000対応	●「タムラグループ行動規範」の改定と周知	●「タムラグループ行動規範」の改定 ・ISO26000を準拠			WEBサイト	従業員 国際社会	●「タムラグループ行動規範」の周知
	●サプライチェーンにおけるCSR推進	●紛争鉱物（コンフリクトミネラルズ）不使用の周知 ●CSR調達の推進 ●グリーン調達の推進	●紛争鉱物（コンフリクトミネラルズ）使用状況のお取引先様への調査実施 ●「調達ガイドライン」の改定 ・CSR調達・グリーン調達推進、紛争鉱物（コンフリクトミネラルズ）不使用 ・BCP推進 ・反社会勢力排除	●CSR調達の推進 ●グリーン調達の推進		WEBサイト	取引先様 国際社会	●紛争鉱物（コンフリクトミネラルズ）不使用の周知 ●CSR調達の推進 ●グリーン調達の推進

注）2013年度の活動内容は、一部を除いて、次のWEBサイトでご覧ください。　URL http://www.tamura-ss.co.jp/jp/csr/index.html

2013年度CSR活動トピックス

社会性報告

交通安全の取り組み

2013年度は交通安全の取り組みに注力しました。各事業所の全社用車にドライブレコーダーを設置し、万が一の事故対応に備えるとともに、運転者の安全運転配慮意識の向上を企図しています。自転車通勤者の安全配慮を目的とした自転車管理細則も整備しました。また、外部講師を招き、自動車利用者、自転車利用者を対象とした交通安全教室を各事業所で実施するなど、交通事故防止の啓発に努めています。

今後も交通事故の減少に寄与すべく、このような取り組みを続けてまいります。

自転車安全利用モデル企業に指定

タムラ製作所は2013年9月27日、警視庁より「自転車安全利用モデル企業」に指定されました。

「自転車安全利用モデル企業」とは、警視庁が、自転車の安全利用に積極的に取り組む企業を模範企業として指定し、従業員の交通安全意識の高揚と自転車の安全管理に努める企業の拡大を図ることを目的とした制度です。自転車交通事故ゼロを目指した当社の取り組みが評価され、東京都内では31番目、本社のある石神井警察署管内では第1号の指定企業（埼玉県内事業所を含む）となりました。

インターンシップ・職場体験学習

タムラグループでは、未来を担う次の世代に「ものづくり」の素晴らしさを伝えることは「企業の社会的責任」（CSR）であるとの考えに基づき、「ものづくり」の現場を体験し「働くこと」を実感してもらう活動を推進しています。海外関係会社を含め、中・高・大学生や留学生などを対象としたインターンシップや職場体験学習を受け入れています。また、企業における「人材育成」や「顧客サービスの仕組み」を学び、今後の学校運営や授業改善に活かしていただく機会として、学校の先生方を対象とした職場体験学習も受け入れています。

タムラ製作所

タムラ電子（マレーシア）

グローバル人材育成

会社組織の一層の活性化をグローバル視点で推進するため、従業員個々人の能力とスキルの強化策を実施しています。従業員一人ひとりのグローバル人材としての成長期待を明確化し、また既に海外ビジネスで経験を積んだ従業員の貴重なグローバルスキルや、海外現地採用従業員のスキルが会社の財産として公正に評価される仕組みを整えることにより、「全員が主役のグローバル企業」に向けた風土づくりを進めています。

2013年度はグローバル人材育成の一環として、若手従業員向けに、新入社員全員を対象とした海外研修（於中国）、および入社2年目から5年目までの従業員を対象としたグローバルマインドセット研修を実施しました。

また、中国においては、海外現地採用従業員全員を対象に経営理念教育、並びに管理監督者を対象としたマネジメント研修を実施し、タムラグループ共通の階層別研修のグローバル展開を図りました。

若手従業員向け海外研修にて、現地従業員との交流

グローバルマインドセット研修

海外法人マネジメント研修（上海）

ものづくり教室開催

2008年より毎年、事業所所在地周辺の小学生を対象に、ものづくり教室を開催しています。

2013年度も、「ものづくり教室～自分だけのラジオ作りに挑戦～」と題して、当社の創業にゆかりのある、ラジオの製作に挑戦しました。

会津タムラ製作所

2014年1月31日、会津タムラ製作所では初めての取り組みとなる、ものづくり教室を開催しました。同社は電源機器や放送機器などを生産する工場で、熟練のはんだ付技術を有する従業員6名が福島県会津美里町の小学6年生54名に、授業の一環としてラジオ製作を指導しました。はんだ付は初めての経験という児童たちばかりでしたが、完成したラジオから音が聴こえた瞬間には喜びや満足げな表情がみられました。学校にも父兄にも大変好評で、地域の企業として事業を知ってもらうきっかけにもなりました。今後は定期的な取り組みとして継続していく予定です。

タムラ製作所・光波

6度目となるものづくり教室を、2013年11月30日、東京都練馬区の小学校にて開催しました。練馬区内の小学生13名が参加し、同区内に事業所のある光波の従業員が中心となり、はんだ付をメインとするラジオ製作を指導しました。年に1回で、事業所周辺地域での持ち回りでの開催ではありますが、未来を担うエンジニアの誕生につながることを確信して、今後とも取り組みを継続してまいります。

ユニセフ外国コイン募金

タムラグループは2013年、日本ユニセフ協会の「ユニセフ外国コイン募金」に参加いたしました。グループ従業員から外国コインを集め、ユニセフの活動資金として世界の子供たちのために役立てています。これまでの従業員一部有志での活動を2013年よりグループ全体としての取り組みに拡大、当社グループの活動初年度となる2013年度は、約11.5kg（金額換算で約81,000円相当）のコインと紙幣を寄附いたしました。今後とも継続して活動に取り組んでまいります。

女子サッカーリーグ ASエルフェン埼玉への協賛

タムラ製作所は、2006年よりトップパートナーとして日本女子サッカーリーグ・なでしこリーグ所属で埼玉県狭山市を中心に活動している「ASエルフェン埼玉」を応援しています。同クラブは2013年、日本女子サッカーリーグのチャレンジリーグで2位となり、2014年には、なでしこリーグに再昇格。またチーム名称をASエルフェン狭山FCからASエルフェン埼玉に変更し、活動の場を広げています。当社は同クラブの本拠地である埼玉県狭山市の事業所内に有しているスポーツセンターを地域に開放しておりますが、同クラブへの練習場としても提供しています。また、クラブを運営するNPO法人の行うサッカー教室を中心とした、健康増進・スポーツ振興などを目的とする総合型地域スポーツクラブの活動を支援しております。今後もスポーツ活動支援を通した地域への社会貢献活動の充実を図っていきます。

環境報告

2013年度環境活動トピックス

環境経営

タムラグループでは、継続的な改善により、環境負荷の低減に取り組むことで、持続可能な社会づくりに貢献します。

環境マネジメントシステムの統合

タムラグループは、2006年度より、グローバルに統一した環境マネジメントシステムを構築し、2013年度までに16社25サイトを統合し、タムラグループ全体の環境パフォーマンスの向上、環境ガバナンスの強化に取り組んでいます。

タムラグループ目標および実績と評価

タムラグループは環境方針で重点施策に掲げた3項目を「環境貢献製品の売上比率の拡大」「環境負荷物質の削減」「電気使用量の削減」の3つの共通目標として環境保全活動に取り組んでいます。

2013年度は、3項目ともに目標を達成することができました。

タムラグループ環境方針

環境理念

タムラグループミッションである「私たちは、タムラグループの成長を支えるすべての人々の幸せを育むため、世界のエレクトロニクス市場に高く評価される独自の製品・サービスをスピーディに提供していきます」にもとづき、地球環境・生物多様性の保全を推進し、全ての企業活動において環境との調和を図ります。

重点施策

タムラグループの事業である電子部品、電子化学材料、はんだ付装置、情報機器関連の設計・開発・製造・サービス活動において、環境マネジメントシステムを運用し、資源の有効活用、汚染の予防及び法規制等を順守すると共に、その継続的な改善を図り、次に示す環境保全活動を重点的に実施します。

1. 環境貢献製品を提供します。
2. 環境負荷物質を抑制し、削減します。
3. 省エネルギー、省資源を推進します。

2013年度 タムラグループ目標と実績

	環境目的	2013年度目標	2013年度実績	2014年度目標
Ⅰ	環境貢献製品の売上比率の拡大	環境貢献製品の売上比率 プレミア環境貢献製品：15% （一般環境貢献製品：49%）	15% （58%）	プレミア環境貢献製品の売上比率17%
Ⅱ	環境負荷物質の削減	化管法※対象化学物質 2005年度比原単位60%削減	64%削減	化管法※対象化学物質 2005年度比原単位64%削減
Ⅲ	電気使用量の削減 （CO_2排出量の削減）	電気使用量 2005年度比3%削減	4%削減	電気使用量 2005年度比5%削減

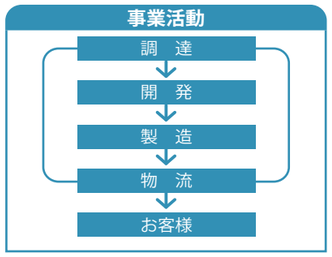
※化管法：特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律

タムラグループ環境負荷の概況

タムラグループは、事業活動における環境負荷を定量的に把握し、プレミア環境貢献製品の開発をはじめ、生産性の向上や物流の効率化など、事業活動のあらゆる場面で、環境負荷の低減に取り組んでいます。

2013年度 環境負荷の概況

INPUT	
電気	53,278MWh
都市ガス	89千m³
ガソリン	266kℓ
重油	88kℓ
軽油	156kℓ
灯油	9kℓ
用紙	1,098万枚
用水	437千m³
化管法対象化学物質※	160t



OUTPUT	
CO_2 排出量	35,663t-CO_2
排水	412千m³
廃棄物等総排出量	1,749t
再資源化量	1,078t
最終処分量	184t

※海外工場でも同一基準で管理しており、本数値は海外分を合算した数値です。

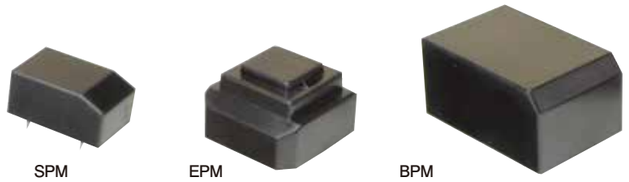
新たなプレミア環境貢献製品の紹介

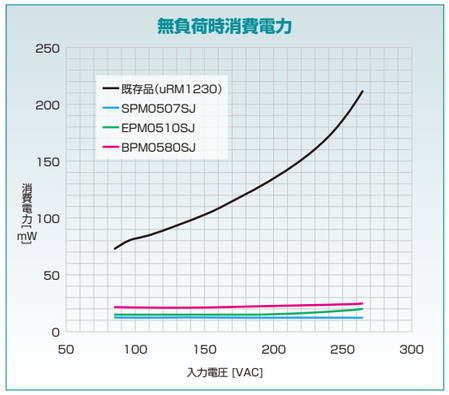
タムラグループでは、開発・設計段階で製品環境アセスメントを実施し、環境影響の最小限化に取り組むとともに、プレミア環境貢献製品の開発・提供を通じて地球環境への貢献を目指しています。

電源モジュール（SPM、EPM、BPMシリーズ）

省エネルギー化の法律規制強化が、世界的に進んでいます。また、エコ特性を付加価値とする電気製品も拡大しており、電源の省エネルギー化要求は高まる一方です。

高効率電源モジュール（SPM、EPM、BPMシリーズ）は、無負荷時の消費電力特性と、軽負荷時（製品の待機状態）の効率特性を、大幅に向上させたモジュールです。お客様の「業界最高水準の省エネルギー製品を、短期間で開発したい」という要求に対応し、使用電力量の削減と開発工数の削減に貢献します。





フレキシブル基板用ソルダーレジスト PAF-300シリーズ

近年、スマートフォンやタブレットPCに代表される、携帯機器には薄型化、軽量化、高機能化の要求があり、プリント配線板にも薄型化、軽量化、高密度実装対応が要求されています。そのような電子機器には、益々フレキシブルプリント配線板（FPC）が使用されています。

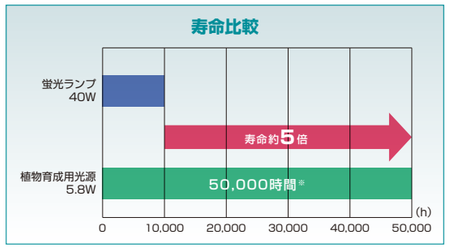
PAF-300シリーズはFPC用ソルダーレジストとして必要な折り曲げ性等の機能だけではなく、デザイン性を求めるお客様の声に応え、「機能性・安全性とともに退色しない色彩の美しさ」を併せ持った「ハロゲンフリーで難燃性を有し柔軟性に優れた多色対応可能なソルダーレジスト」です。

【特徴】●環境対応：ハロゲンフリー　●安全性対応：難燃性（UL対応）
●デザイン性対応：多色対応　●機能性対応：折曲げ性・低弾性低反発・低反り性

植物育成用光源　DC12V／5.8W

植物育成で使用される蛍光ランプの代替および省エネ化を目的とし開発しました。

実績としてはブナしめじの育成に使用され、一般の蛍光ランプと同等以上の発育環境にあるとのご評価を頂いております。長さは40W蛍光ランプと同等、寿命は50,000時間と従来の蛍光ランプの約5倍です。また、パイプにポリカーボネートを使用することで蛍光ランプのように割れる心配もなく安心してご使用頂けます。汚れた場合は防水構造なので水洗いが可能でお手入れも簡単です。



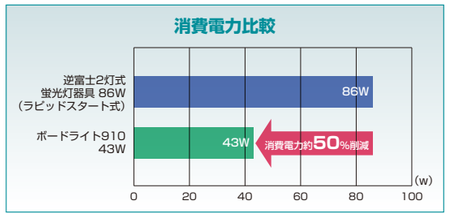
※Ta=20℃　全光束初期値70%時

天井材型LED照明　ボードライトシリーズ

薄い、軽い、簡単施工の次世代型LED照明です。天井ボードを貼るような感覚で短時間で施工ができるため、オフィスや店舗のレイアウト変更にも柔軟に対応できます。

従来のラピッドスタート式蛍光灯2灯式器具と比べ約50％の節電効果があり、CO_2や使用電力量の削減に貢献します。

ボードライト910



※蛍光灯は灯具形式やランプにより、若干の消費電力差が生じます。

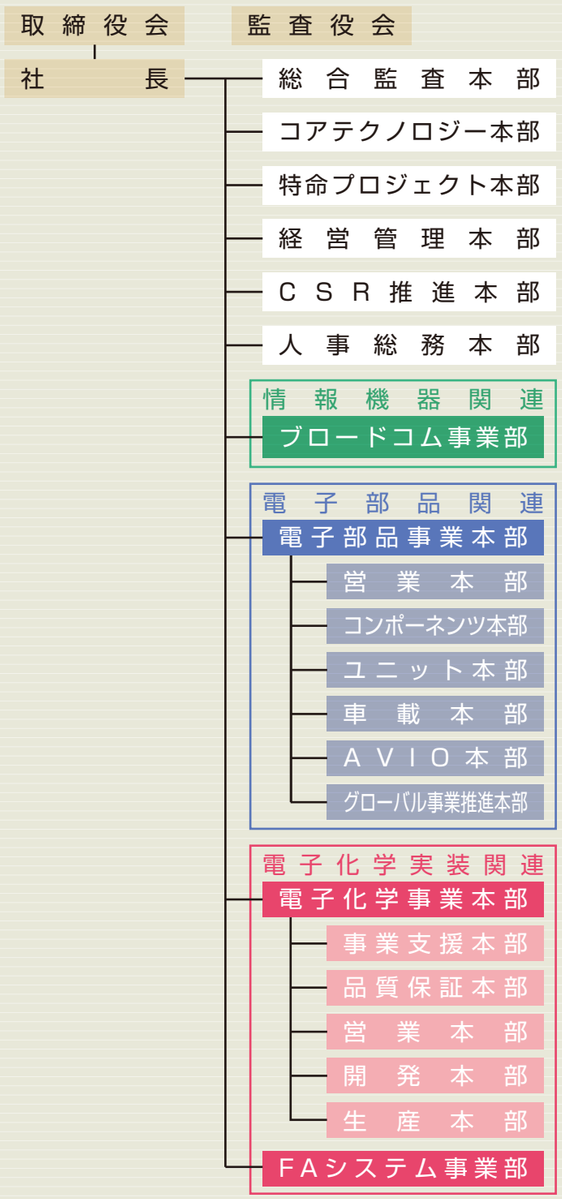
CORPORATE DATA

会社プロフィール

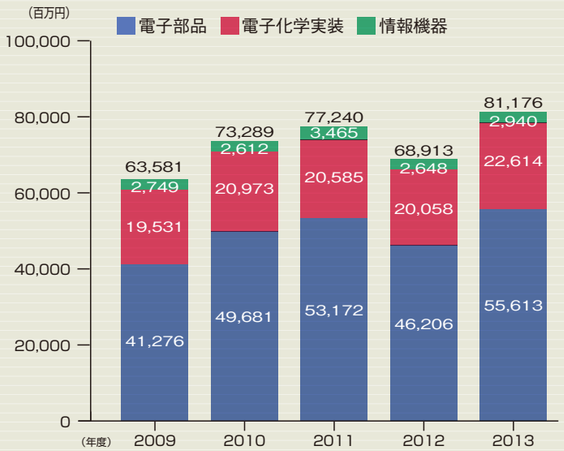
会社プロフィール

商　号	株式会社タムラ製作所 TAMURA CORPORATION
創　業	1924年5月11日
設　立	1939年11月21日
資本金	11,829百万円(2014年3月31日現在)
株　式	(2014年3月31日現在) 発行可能株式総数 252,000,000株 発行済株式の総数 82,013,280株 (自己株式758,193株を除く)
株主数	11,165名
決算期	年1回　3月31日
役　員	(2014年6月26日現在)
代表取締役社長	田村 直樹
取締役常務執行役員	李 国華
	浅田 昌弘
取締役	蓑宮 武夫(社外取締役)
取締役上席執行役員	中島 康裕
	南條 紀彦
	齋藤 彰一
上席執行役員	橋口 裕作
	清田 達也
執行役員	舞木 孝一郎
	徳光 昭
	末田 直一
	柴田 誠治
常勤監査役	久保 肇
監査役	佐藤 正典(社外監査役)
	守屋 宏一(社外監査役)

会社組織図 (2014年4月1日現在)

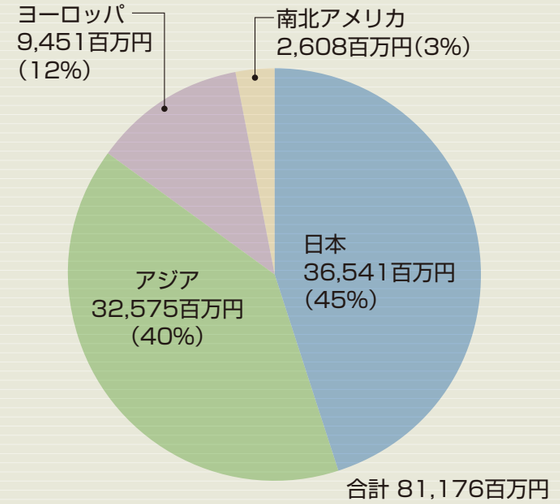


売上高(連結)

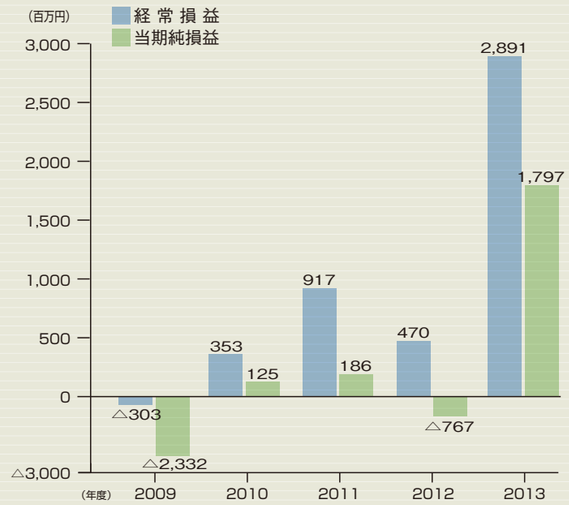


※各事業の外部顧客に対する売上高(事業間の内部売上高を除く)を表示しています。
※各事業年度の連結売上高合計には、その他事業(運輸・倉庫・保険業)が含まれています。

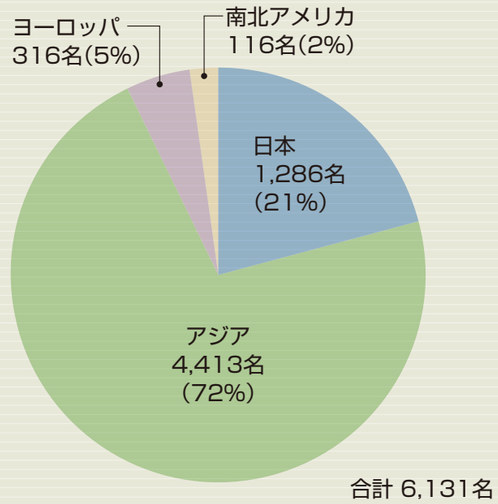
地域別売上構成(連結) (2014年3月期)



経常損益・当期純損益(連結)



地域別従業員構成(連結) (2014年3月31日現在)



Network Japan
WE SUPPORT

タムラグループは国連グローバル・コンパクトに
参加しています。

国連グローバル・コンパクト
1999年の世界経済フォーラムにおいて、当時国連事務総長であったコフィー・アナン氏が「民間企業のもつ創造力を結集し、弱い立場にある人びとの願いや未来世代の必要に応えていこう」と提唱し、翌2000年に正式に国連の活動としてスタートした企業の自主行動原理。

COMMUNICATION ON
PROGRESS

This is our **Communication on Progress** in implementing the principles of the **United Nations Global Compact** and supporting broader UN goals.

We welcome feedback on its contents.

http://www.tamura-ss.co.jp/

タムラグループマスコット
“クーニュ Quenu”

株式会社タムラ製作所
TAMURA CORPORATION
〒178-8511 東京都練馬区東大泉1-19-43